

記入例 ※実際はすべて黒字で記入してください。

第 号

平成31年4月1日から
変更されました。

令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

奈良県知事 殿

広陵町教育委員会に提出する
日付を記入してください。

申請者（施主）の住所・氏名等
を記入してください。

住所 奈良県北葛城郡広陵町〇〇〇〇〇
氏名等 広陵 太郎

埋蔵文化財発掘の「届出・通知」について

押印は、令和3年
4月1日から廃止
されました。

周知の埋蔵文化財包蔵地において土木工事等のための発掘を実施したいの
で、文化財保護法（昭和25年法律第214号）[第93条第1項・
第94条第1項] の規定により、別記1の事項について、関係書類を添付し、
別記2のとおり [届出・~~通知~~] します。

1. 土木工事等をしようとする
2. 土木工事等をしようとする
3. 土木工事等をしようとする
4. 土木工事等をしようとする
5. 当該土木工事等の目的、計画
6. 当該土木工事等の主体となる
るときは、契約の両当事者
その名称及び代表者の氏名
7. 当該土木工事等の施行担当者
8. 当該土木工事等の着手の予定
9. 当該土木工事等の終了の予定時期

- 付近見取図は、縮尺2500分の1程度の地図に所在地（事業地）を示してください。
- 配置図、平面図は、縮尺100～500分の1程度、現況図や土地利用計画図、造成計画図など
- 敷地断面図は、縮尺100～500分の1程度、計画断面図など
- 基礎伏図は、縮尺30～100分の1程度、平面・断面など

※申請者（施主）と土地所有者・占有者が異なる場合は承諾書も添付してください。

※申請者（施主）が届出業務を設計業者などに委託される場合は委任状も添付してください。

10. その他参考となるべき事項として、付近見取図、配置図、平面図、敷地断面図（現況及び計画を明示したもの）、基礎伏図を必ず添付すること。

別記 2

93条第1項・94条第1項

文保第 別記1の事項について、別記2の
各枠（太枠）内に記入します。 日

※枠内に入らない場合は「別紙一覧」と記入し、別紙一覧表を添付してください。
※申請者（施主）と土地所有者・占有者が異なる場合は承諾書が必要です。

1. 所在地	奈良県北葛城郡広陵町○○○○○	
2. 面積	開発面積 ○○○○m ²	建築面積 ○○○○ m ²
3. 土地所有者	氏名等：奈良県北葛城郡広陵町○○○○○ 住所：広陵 花子	
4. 遺跡の種類	散布地 集落跡 貝塚 都城跡 官衙跡 城 その他墓 生産遺跡 その他の遺跡 ()	
遺跡の名称	○○遺跡	員数 ○○
遺跡の現状	宅地 水田 畑地 山林 道路 荒蕪地 原野 その他 ()	
遺跡の時代	旧石器 縄文 弥生 古墳 奈良 平安 中世 近世 その他 ()	
5. 工事の目的	住宅(自己用・賃貸・分譲) 道路 鉄道 河川 夕 農業関連 土砂採取 観光開発 その他 ()	
工事の概要	木造2階建て 柱状改良工事	
6. 工事主体者	氏名等：広陵 太郎 住所：奈良県北葛城郡広陵町○○○○○	
7. 施工責任者	氏名：株式会社コウリョウ 代表取締役 牧野二郎 住所：奈良県北葛城郡広陵町○○	
8. 着手予定時期	令和○○年○○月○○日	9. 終了予定時
10. 参考事項	こうりょう建築設計事務所 代表取締役 巢山三郎 担当：石塚三吉	
法93条に基づく届出は着手しようとする日の60日前までに提出が必要です。	届出調査	工事立会 慎重工事
	決	裁 発

遺跡の種類、名称、員数、時代が不明の場合は記入しなくてもOKです。

工事内容を簡潔に記入してください。建物の場合、基礎構造、地盤改良の有無を記入してください。

工事主体者は、申請者（施主）です。

施工責任者が未定の場合は「未定」でもOKです。

県からの通知文を送付する宛先、委託業務担当者の連絡先等を記入してください。
※委任状の添付のみでも良いです。

【注意事項】 ①太線内は届出者・通知者が記入。 ②指導事項欄は都道府県
③遺跡の種類・現状・時代及び指導事項欄は該当項目を○で囲み、該当項目のない場合は()内に記入。